

令和2年度 文部科学省への予算要望事項

全国肢体不自由特別支援学校 PTA 連合会

会長 澤村 愛

肢体不自由児者の教育の充実のために、下記の事項についての要望をいたします

1 特別支援教育の充実

教育・福祉・医療・労働等の各関係機関が協力して、ニーズに合った「個別の支援計画」を作成し、それが各ライフステージに引き継がれる仕組みをつくってください。特に学齢期においては、その計画・実施・評価を加えることで、幼児生徒一人ひとりの障害の重度・重複化・多様化に対応したものにしてください。

2 学校規模に応じた定数の改善

近年新設や統合で大規模な併設校が増えています。併設校の強みを活かしながらも、対児童・生徒数の比率でこうした学校が、副校長・養護教員・看護師・事務職員・技能職員及び学校医の配置数において不利な状況とならないようにしてください。

3 センター的機能の充実

特別支援学校という専門性を活かして、特別支援教育コーディネーターなどの人材を確保し、より専門性を充実させ、地域へのセンター的機能の充実を図る仕組みづくりをお願いいたします。

4 医療的ケアの更なる充実

・特別支援学校のみならず全ての学校で医療的ケアが安全安心に行われるために、看護師を適切に配置してください。呼吸器の親も含めた全ての親の付き添いが、真に必要な時のみになるよう、各種専門家、コーディネーター配置に係る財源を確保してください。

・共生社会の進展を見据えて、肢体不自由校に関わらず、どの学校においても、医療的ケアを必要としている子供が在学することを想定し、教職課程の中に、医療的ケア及び三号研修を組み込むことについて、ご検討ください。

・教育の充実のため、スクールバスに乗る事が出来ない医療的ケアのあるお子さんに乗せる為の専用の通学車両が走りだした自治体があります。こうした取り込みが全国にひろがるように、財政措置の拡充をお願いいたします。

5 高等学校におけるキャリア教育・職業教育の充実

・ICT 機器の発達が目覚ましいものがあります。しかしながら生徒個々には、学習用アドレスが与えられてない等、実践的な環境とはなっておりません。在宅就労にも繋がる ICT 教育が一層進むような通信環境を整えてください。

・特別支援学校の高等部生徒の就労を促進するため、在学中に企業等での実習の強化を図ってください。

6 生涯学習の充実

人は誰でも一人ひとりが可能性を秘めています。肢体不自由者が学校卒業後も生涯を通じて、教育や文化、スポーツなど様々な機会に親しむことにより、夢と希望を持って生きていけるような施策の推進をお願いいたします。